

評価確定日(平成17年11月30日)

事業コード	H17-建-終-3			区 分	● 国庫補助 ・ ○ 県単独
事業名	公共下水道県代行事業			部局課室名	建設交通部 下水道課
事業種別	公共下水道事業			班 名	公共下水道班 (tel) 2465
路線名等	阿仁処理区			担当課長名	川原 幸徳
箇所名	北秋田市 阿仁水無～阿仁銀山			担当者名	主幹(兼)班長 竹花 秀一
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	1	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	2	施策目標(指標)名	下水道等普及率	

## 1. 事業の概要

事業期間	H10～H15(6年)	総事業費	11億71百万円	国庫補助率	50、55%																																												
事業規模	終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1,800m																																																
事業の立案に至る背景	<p>本事業は、財政力・技術力に乏しい過疎市町村においても、県民が等しく下水道の恩恵を享受できるよう、県が市町村に代わり処理場、幹線管渠などの下水道の根幹的施設を整備するものであり、過疎法の規定によりH10年度から事業化が図られた。</p> <p>旧阿仁町は、県内他市町村と比べ、著しく財政力が劣っており、また、高齢化・人口減少が顕著な町である。町では早くから下水道の必要性を認識していたが、財政的な困難から事業着手に至らずにいたが、H10年度に県代行事業が制度化されたことを受け、県代行事業と共に町下水道事業の着手を図った。</p> <p>本事業は、県の支援により、他の地域に比べ立ち後れている生活環境の改善を図り、定住環境の整備を進めると共に、町内を縦貫する阿仁川などの公共用水域の水質保全を図ろうとしたものである。</p>																																																
事業目的	<input type="checkbox"/> 生活環境の改善 <input type="checkbox"/> 公共用水域の水質保全 <input type="checkbox"/> 下水道未供用市町村の解消																																																
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初計画①</th> <th>最終②</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,286,000</td> <td>1,170,500</td> <td rowspan="3">最終コスト比較 C②/C① = (0.91)</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>1,136,000</td> <td>1,025,870</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>用補費</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>その他</td> <td>150,000</td> <td>144,630</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td>国庫補助</td> <td>679,450</td> <td>618,420</td> <td rowspan="3">最終費用便益比 B/C = (1.13)</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>県債</td> <td>272,000</td> <td>248,000</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>その他</td> <td>303,275</td> <td>276,040</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>一般財源</td> <td>31,275</td> <td>28,040</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km</td> <td>終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					当初計画①	最終②		事業費	1,286,000	1,170,500	最終コスト比較 C②/C① = (0.91)	経費			工事費	1,136,000	1,025,870	内訳	用補費	0	0	内訳	その他	150,000	144,630	財源	国庫補助	679,450	618,420	最終費用便益比 B/C = (1.13)	内訳	県債	272,000	248,000	内訳	その他	303,275	276,040	事業内容	一般財源	31,275	28,040		事業内容	終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km	終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km		
	当初計画①	最終②																																															
事業費	1,286,000	1,170,500	最終コスト比較 C②/C① = (0.91)																																														
経費																																																	
工事費	1,136,000	1,025,870																																															
内訳	用補費	0	0																																														
内訳	その他	150,000	144,630																																														
財源	国庫補助	679,450	618,420	最終費用便益比 B/C = (1.13)																																													
内訳	県債	272,000	248,000																																														
内訳	その他	303,275	276,040																																														
事業内容	一般財源	31,275	28,040																																														
事業内容	終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km	終末処理場 N=1箇所 幹線管渠 L=1.8km																																															
事業終了後の問題点	<input type="checkbox"/> 無し																																																
住民満足度等の状況 (事業終了後)	<p>①満足度を把握した対象 ● 受益者 ○ 一般県民 (時期:17年 9月)</p> <p>②満足度把握の方法 ● アンケート調査 ○ 各種委員会及び審議会 ○ ヒアリング ○ インターネット ○ その他の方法(具体的に)</p> <p>③満足度の状況</p> <p>旧阿仁町下水道供用区域の住民を対象としたアンケート調査を実施した結果、下水道の必要性については90%、下水道に対する満足度は93%と非常に高い支持を得ている。 (調査対象戸数544世帯の内、回答344世帯:回収率63.2%)</p>																																																
上位計画での位置付け	<input type="checkbox"/> あきた21総合計画 ⇒ 「四季を通じて快適な生活環境の確保」を支援する事業 <input type="checkbox"/> 秋田県生活排水処理整備計画 ⇒ 下水道による集合処理で整備を実施 <input type="checkbox"/> 秋田県過疎地域自立促進計画 ⇒ 県代行事業による下水道整備の支援																																																
関連プロジェクト等	<input type="checkbox"/> 鷹巣阿仁地域合併協議会(H17.3.22合併:北秋田市)																																																

前回評価結果等	選定または継続      改善      見直し      保留または中止 ①指摘事項  																												
	②指摘事項への対応  																												
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="3">下水道供用開始市町村率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="3">供用開始市町村数/下水道計画市町村数(60市町村)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>● 成果指標</td> <td>○ 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>88.3%</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>93.3%</td> <td></td> <td>秋田県下水道データ</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>105.7%</td> <td></td> <td>把握の時期</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16年 3月</td> </tr> </table>	指標名	下水道供用開始市町村率			指標式	供用開始市町村数/下水道計画市町村数(60市町村)			指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	目標値 a	88.3%		データ等の出典	実績値 b	93.3%		秋田県下水道データ	達成率 b/a	105.7%		把握の時期				16年 3月
	指標名	下水道供用開始市町村率																											
指標式	供用開始市町村数/下水道計画市町村数(60市町村)																												
指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無																										
目標値 a	88.3%		データ等の出典																										
実績値 b	93.3%		秋田県下水道データ																										
達成率 b/a	105.7%		把握の時期																										
			16年 3月																										
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 ①指標を設定することができなかった理由  ②具体的な把握方法と成果（見込まれる効果） ※データの出典含む  																													

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価結果
有 効 性	①住民満足度の状況 ● A    ○ B    ○ C  住民アンケート調査の結果、非常に高い満足度を得ている。	● A
	②事業の効果 ● A 達成率100%以上    ○ B 達成率80%以上100%未満    ○ C 達成率80%未満  目標供用開始市町村数「53」を上回る「56」市町村の供用開始が果たせた。 また、旧阿仁町の下水道等の生活排水処理普及率も供用開始前(H13)の1.1%から 51.0%(H16)に飛躍的に向上した。	○ B ○ C
効 率 性	①事業の経済性の妥当性 ● A    ○ B    ○ C  B/Cが国庫補助採択基準1.0 (<1.1)を上回っており、経済性の妥当性が高い。	● A
	②コスト削減の状況 ○ A 縮減率20%以上    ○ B 縮減率20%未満    ○ C 縮減なし	○ B ○ C
総合評価	● A（妥当性が高い）    ○ B（概ね妥当である）    ○ C（妥当性が低い）  事業計画に沿って早期の供用が図られ、下水道等の生活排水処理普及率も飛躍的に向上した。また、住民満足度も非常に高いことから事業の妥当性は高いと判断する。	

## 3. 評価結果の同種事業への反映状況等（対応方針）

実施計画時に合理的な施設計画及び経済的な工法を採用するなどして、コスト削減に努めるとともに、一体的に整備を進める市町村下水道との事業調整を密に行い、早期に事業効果が発現できるよう努める。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

## 終了箇所評価判定点検表

(様式 8-1)

### (1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目		配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	a	/	A : 経済性は高い (4点) B : 有効性はある (1~3点) C : 有効性は低い (0点)	1次 / 2次
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度等が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目標の達成状況	a 達成率が100%以上	2	a			
		b 達成率が80%以上100%未満	1				
		c 達成率が80%未満	0				
計			4	4	A		
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	費用便益比	a B/Cが、国庫補助採択基準がある場合はそれ以上、その他の場合は1.5以上となっている	2	a	A : 効率性は高い (2点) B : 効率性はある (1点) C : 効率性は低い (0点)	1次 / 2次
			b a、c以外	1			
			c B/Cが、1.0未満	0			
	コスト削減の状況(費用便益比が算定できない場合)	a 当初と比較して最終コスト削減率が20%以上	2	/			
		b 当初と比較して最終コスト削減率が20%未満	1				
		c 当初と比較して最終コスト削減がなし	0				
計			2	2	A		

### (2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	/
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		